

## 吼噓之宴 第三席 一般参加案内

一般参加に関する案内をQ&A形式でお伝えします。参加される前に必ずお読み下さい。

---

Q1：子供1人での参加はできますか？

A1：小学生以下の方は保護者の同伴が必要です。その場合、保護者の方を含めた人数分の入場キットの購入が必要となります。中学生の方は保護者の同意が必要です。

Q2：必要な持ち物はありますか？

A2：運営が推奨する持ち物は次の通りです。

参加経験が豊富な方に聞けるのなら、その意見を参考にするのもよいと思います。

### (1)資金

「使いやすい」のは、500円玉や100円玉、1000円札です。特に開場して間もなくは、お釣りが無い方がスムーズです。5000円札や1万円札といった高額紙幣はなるべく避け、使う場合もサークルの方へ一言確認を取るようにしましょう。

### (2)カバン・バッグ

大きめの、深さのあるトートバッグなどを用意しましょう。手に入れた頒布物をすぐにしまえるので、他の参加者の邪魔になりません。リュックを使用される場合は前に抱えるなど周囲へご配慮ください。

### (3)名札

用意があると何かと便利です。同じイベントに参加している知り合いと合流するときの目印として使える

ほか、挨拶するときに利用すれば相手も「○○さんですね！」とすぐ分かります。

### (4)スケッチブック

「スケブ」とも呼ばれます。お気に入りの好きなサークルさんにイラストを描いていただけるかもしれません。スケッチブックには自分の連絡先と名前（ハンドルネーム）を忘れずに。

【必ず守ってください】

- ・まずは受け付けているか尋ねてみましょう。また開会直後や閉会間際の時間帯は避けましょう。
- ・スケッチブックはサークルのご厚意で行われているものです。無理強いや押し付けなどは止めましょう。
- ・可能な限り頒布物を購入してからお願いするようにしましょう。

Q3：何時ごろに行けばよいですか？

A3：イベントの開場は11時ですので、その時刻を目安にご来場ください。

お目当てのサークルがあるのならば少し早めに到着して並ぶのも構いませんが、**10時00分以前の来場は近隣や他の利用者のご迷惑になるのでおやめください。**到着予定時間を予めご確認の上、余裕をもってご来場ください。

Q4：電車で行きます。最寄り駅はどこになりますか？

A4：市営地下鉄名城線「西高蔵駅」（徒歩5分）、または市営地下鉄名港線「日比野駅」（徒歩5分）です。

初めて来る人は道に迷わないように10分～15分程度見積もっておけば間違いのないでしょう。

「日比野駅」を利用される際は名鉄線とお間違えなきようご注意ください。

（同じ愛知県内と言うこともあり間違える方は少なくないようです）

Q5：車でいきます。駐車場は使えますか？

A5：会場に併設されている駐車場が利用できます。料金は700円/1回です。ゲート位置など詳しくは名古屋国際会議場のホームページをご覧ください。

なお、収容台数には限りがあります。可能な方は公共交通機関（電車、バス等）をご利用ください。

Q6：入場キットは必ず買わないとだめですか？

A6：同梱する缶バッジが入場証になりますので、入場キットは絶対購入制（頒布価格1500円）とさせていただきます。また同梱の会場MAPにはサークル情報とイベントを楽しむための注意事項を掲載しています。特に注意事項は入場の前に必ずお読みください。

Q7：会場内で注意しないといけないことはありますか？

A7：会館内は禁酒、禁煙です。会場内は走らないようにお願いいたします。

また、会場で出たゴミは各自でお持ち帰りください。法律に反しているものやスタッフに持ち込みを断られたものなどは持ち込みできませんので、お持ち帰りいただくかスタッフまでお問い合わせください。

Q9：コスプレや撮影は出来ますか？

A9：今回はいずれも実施はありません。コスプレした状態での来場もおやめください。

Q8：会場内で困った時はどうすれば...

A8：当日、わからないことがあればスタッフまでお気軽にお尋ねください。

---

同人誌即売会、同人作品とは

同人作品とは個人やグループが趣味として制作した本やグッズなどの総称です。同人誌即売会とはこのような同人作品の頒布や展示などを通して同志との交流を楽しむイベントです。

一般参加とは

同人作品を手に入れる、同じ趣味や目的を持つ者同士で交流する、といった目的で同人誌即売会やイベントに参加することを「一般参加」と呼びます。

サークルとして参加すれば「サークル参加」、スタッフとして参加すれば「スタッフ参加」と呼びます。

イベントに来場される全員は、同じ趣味や目的を共有する「仲間」であり「参加者」である、というのが同人誌即売会における基本的な考え方です。他の参加者と共にイベントを成功させる役割を持っている、ということに違いはありません。